

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価

事業名	地域情報通信基盤整備推進交付金事業							
市町村名	利尻富士町		事業完了日	平成23年3月30日				
事業の概要	総事業費	2,524,662千円 (765,555千円)		交付金額	841,554千円 (255,185千円)			
	整備対象地域	利尻富士町の全域						
	事業の内容							
	<p>利礼3町（利尻町、利尻富士町、礼文町）で地域間の情報格差是正と地域の活性化を図ること、また、IP告知放送を利用した迅速な防災情報提供による地域住民の安全確保と、日常のきめ細やかな行政情報の提供による地域の一体化を促進することを目的に、FTTH網を整備しFTTHサービスを提供する。</p> <p>町内全域のBB（ブロードバンド）未提供エリアとADSL8Mサービスのみ提供となっている地域に対し、整備されたFTTHを民間電気通信事業者IRUで開放する事により、FTTHサービスを提供するほか、全戸へIP通信による双方告知端末を導入し、緊急放送や情報提供を行うと共に、遠隔医療や高齢者見守り等の安心・安全なまちづくりを推進する。</p>							
BB	サービス開始日	平成23年4月1日						
	サービス形態	公設民営(IRU)						
	契約先	東日本電信電話株式会社						
		整備計画時の目標		実績				
		初年度	最終	H23年度末	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H27年度末
	整備地域の世帯数	1387	1387	1337	1350	1347	1339	1300
	加入世帯数	420	560	272	393	466	502	519
加入率(%)	30.2	40.3	20.3	29.1	34.6	37.4	39.9	
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・全地域で光BBへの加入が可能となり、タイムラグがなく情報収集が可能になった。 ・IP双方告知端末の設置により防災情報や生活関連情報の提供が迅速になり、住民の安心・安全なまちづくりに繋がった。 ・IP双方告知端末の利用により、地域住民間での情報交換が可能になったことにより、住民同士の交流が盛んになったほか、高齢者の一人世帯の見守りサービスを行うことが可能になった。 							
評価及び課題	<p>町内全域にFTTH網が整備され、IRU契約に伴うBB加入率は当初目標としていた40.2%には届かなかったが、平成27年度末で39.9%となっており達成率99.2%であり、数年で目標は達成される見込みである。</p> <p>IP双方告知端末により、地域住民への迅速な防災・生活情報の提供、一人世帯の高齢者の見守りや地域住民間の情報交換が可能となり地域が活性化された。</p> <p>防災・生活情報についてはIP双方向告知端末により取得出来るが、より多くの住民に一般情報も活用していただけるよう、引き続き一層、BBへ加入いただけるよう地域住民へ情報発信する必要がある。</p>							